

令和7年度活動報告

農地・移住・就農部会

① 新・農業人フェア出展(令和7年11月 23日 農業 EXPO@東京ビッグサイト)

来場者数：1,330 名 相談数:5件

年齢 : 20 歳代 : 2 名
30 歳代 : 1 名
50 歳代 : 1 名
60 歳代 : 1 名

都道府県 神奈川県 : 4 件
埼玉県 : 1 件

パンフレット配布数 : 43 部

近年、Iターン移住者を中心に、有機農業での新規就農を相談される方が増加してきている。こういった傾向から、潜在的な有機農業での新規就農希望者は、相談件数以上に存在していることが予想されることから、南種子町の有機農業推進の取り組みを広くPRするため、「新・農業人フェア」へ参加し相談を受けるとともに情報収集を行った。

就農支援メニュー・指導体制など充実しているところは相談者も多い傾向である。



生産技術部会

① 有機農業研修会の開催（年 4 回）

トンミー市場の生産者を中心に広く呼びかけ、有機農業に取り組む生産者を増やし、給食やトンミー市場への有機食材の供給を充実させるための研修会を開催した。特に、利用頻度の高いニンジンとタマネギの栽培技術を学ぶことを目的に農業者研修会を年 4 回開催した。

課題としては、給食出荷基準を品目ごとに確認することや、使用量が少ないため、まとめての出荷ができないことが難点であるとの意見があった。

表 1 研修会内容

回	期日	内容
第 1 回	令和 7 年 8 月 7 日	ニンジンの太陽熱消毒技術
第 2 回	令和 7 年 10 月 8 日	タマネギ栽培について、およびニンジン播種について
第 3 回	令和 8 年 11 月 25 日	有機農業・環境保全型農業協議会合同現地研修会
第 4 回	令和 8 年 3 月 7 日	太陽熱養生処理方法とシーダーテープ 活用について

表 2 給食へのニンジン提供実績

月	出荷者	保育園	給食センター	計
1 月	1 名	6 日 2.9 kg		2.9 kg
2 月	1 名	8 日 4.7 kg	5 日 57 kg	61.7 kg
合計		14 日 7.6 kg	5 日 57 kg	64.6 kg

【研修状況】



太陽熱消毒研修



現地研修会

② 全体的研修会の開催（年2回）

令和7年6月19日 緑肥活用研修会

13:30～15:00 緑肥について

- ① 南種子町での緑肥の利用状況
- ② 目的別 緑肥の活用方法
- ③ 緑肥の栽培方法について
- ④ その他

講師:雪印種苗 西日本営業部

南九州営業所長 永井 恭之 氏

南九州営業所係長 杉村 耕介 氏

令和8年1月22日 環境にやさしい持続可能な農業推進研修会(熊毛支庁合同研修)

講演①……14:10～15:20(70分)

南さつま市の有機農業への取組について

みどりの食料システム戦略推進総合対策事業（有機農業）の取組

講師:南さつま市農村振興課

講演②……15:25～15:55（30分）

有機農業に関する消費者の動向・意識等について

講師:九州農政局鹿児島県拠点



研修会の様子



南さつま市職員 現王園 氏

③ グリーンな栽培体系加速化事業（有機米）

3名の農家の圃場で有機米づくりに向けた検証を行った。令和7年度は2年目であり、「施肥」、「播種育苗」、「栽培雑草管理」の各段階において、アイガモロボによる雑草対策など有機米につながる技術の検証を継続して行った。

7年産については、梅雨入りが平年より早く5月の日照不足もあり、アイガモロボ検証のため深水管理した実証圃では藻が大発生するなどの課題もみられた。

検証内容については、12月および1月に検討を行い、早期米における有機栽培マニュアルを作成した。



アイガモロボ実証



乗用除草機の実証



生育調査の様子

④ グリーンな栽培体系加速化事業事業（安納いも）

3名の農家の圃場で環境にやさしい安納いも栽培体系確立に向けた検証を行った。令和7年度は2年目であり、「耕起整地」、「施肥・土づくり、病虫害管理」、「定植、栽培管理、収穫後作業」の各段階において額縁明渠設置やサツマイモ移植機の実証など病害対策や省力化につながる技術の検証を継続して行った。

2年目の今回は、苗の温湯消毒や機械による除草体系の検討ということで2種のカルチでの作業試験を行った。

検証内容については12月と1月に検討を行い、減化学肥料・減農薬栽培体系のマニュアルを作成した。



植付機



機械除草の検討①



機械除草の検討②

普及・流通部会

① 有機農業体験イベントの開催

有機農業の普及(食育、環境教育等の各分野)を目的として、あおぞら保育園の子どもたちを対象とした有機農業体験の実施、種子島高校・生物生産科の視察対応を通じて広く情報発信や有機農業の理解促進に努めた。

有機農業体験で収穫したさつまいも、およびニンジンについては、収穫したものを食することで一段と体験を深められることから保育園に提供して父兄への理解も深めて頂いた。



<あおぞら保育園>

R7.6.6 サツマイモ植付

R7.10.16 サツマイモ収穫

R8.2.16 バレイショ・ニンジン収穫

② 種子島高校の視察研修対応（令和7年11月25日）



（現地研修）

かごしま有機生産組合種子島事業部のニンジン圃場と、田上製茶・田上俊作さんの自家製肥料製造現場を視察。

（室内研修）

かごしま有機生産組合・上野部長から『有機農産物って何？』と題し、有機に関する基礎的なことはもとより、販売面などについて幅広く研修を行った。

有機給食部会

① みなみたねゆうきっこチャレンジ給食

毎月8日の有機の日に合わせて、有機野菜を取り入れた給食の提供を行った。栄養教諭により、給食に使用している有機食材について献立表や一口メモで、児童・生徒にもわかりやすく周知がされた。

ゆうきっこチャレンジ給食については、7年度より本町産の食材に限定し実施した。ご飯は有機試験栽培米を使用し、有機研修会で栽培した野菜は一部、給食で使用された。

食材の搬入については、毎日その日の分を給食センターに持ち込む必要がある。農家が毎日持ち込むには負担もあることから、農家は2・3日分をトンミー市場に出荷し、トンミー市場が給食センターに納入する体制をとった。

また、昨年度まで実施していた、各学校へ事務局と関係者（生産者、栄養教諭、職員等）で出向き、有機農業についての説明を行い、生徒たちと交流する巡回活動については本年度は実施しなかった。

② 有機給食イベントの開催（令和7年12月8日）

町内小・中学校の児童生徒及び保護者への有機農業の普及（食育、環境教育）を目的として開催した。町内小・中学校で有機食材を使った給食を提供し、島間小学校において有機給食試食会を開催した。

食材は、米・茶・サツマイモ・サトイモを使用。



*R8.1

「鹿児島をまるごと味わう学校給食」週間に合わせ、有機食材を利用した給食を提供

表3 令和7年度有機および無化学肥料・無化学農薬食材の提供状況

品目	出荷量	保育園	給食
有機サツマイモ	143.0 kg	0.0 kg	143.0 kg
有機サトイモ	29.3 kg	5.3 kg	24.0 kg
有機ジャガイモ	17.8 kg	17.8 kg	0.0 kg
有機茶	0.3 kg	0.0 kg	0.3 kg
有機ニンジン	271.0 kg	32.0 kg	239.0 kg
有機米	1,235.5 kg	70.0 kg	1,165.5 kg
合 計	1,696.9 kg	125.1 kg	1,571.8 kg

（参考）給食センター出荷日量について

米：51kg/日

ニンジン：4～18 kg/日

サツマイモ：11～36 kg/日

- ◆「ふるさと祭」お祭り広場で、町有機農業推進協議会ブースの設置や展示
かごしま有機生産組合種子島事業部において生産された農産物等の販売

- ◆ 研修会への出席

令和7年5月31日 有機農業フォーラム in KAGOSHIMA

令和7年7月31日 オーガニック・レッジ意見交換会

- ◆ 先進地視察：令和7年12月23・24日

熊本県山都町 トンミー市場生産者組織と合同で実施

山都町の給食の取組状況、販路体制、行政の支援体制等について研修を実施
また、各物産館の取組について視察を行った。



- ◆ 町外からの訪問や視察の受入れ、意見交換会など

令和8年1月23日 南さつま市

- ◆ 情報発信（町広報紙・町ホームページ・SNS）

- ＊町広報紙へ記事を掲載

- ＊町ホームページへの情報掲載

- ＊SNSでの情報発信（協議会Instagram）



MINAMITANE_ORGANIC